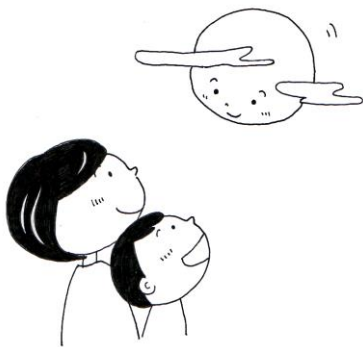


# 園だより

2024年9月1日  
社会福祉法人  
緑の丘福祉会  
ののかぜ保育園



秋の自然をたっぷり楽しもう！！

ののかぜ広場に向けて

期待を膨らませていこう！

9月 保育・行事計画							
1	日	伝言ダイヤル	11	水		21	土
2	月		12	木	保育部会	22	日
3	火	初期消火訓練	13	金	人形劇 千種園長会	23	月 振替休日
4	水	職員会	14	土		24	火 あい共連署名学習会 職員会
5	木	1日経営部会	15	日		25	水 職員会
6	金	プール閉め 愛保協署名学習会	16	月	敬老の日	26	木 保健部会・誕生会 運営委員会・避難訓練
7	土	さくらお泊り会(親企画)	17	火		27	金 ののかぜ広場 リハーサル
8	日	さくらお泊り会(親企画)	18	水	ののかぜ広場 リハーサル	28	土
9	月		19	木	給食部会	29	日
10	火	法人採用試験	20	金		30	月

## たっぷり楽しんだ水・プール遊び

今年度も、異常なほどの高気温となった夏。保育園では連日子どもたちは水遊び三昧でした。

つくし組はビニールプールの中にどっかり座って遊んだり、小さいプールでは物足らず、れんげ・たんぽぽ組さんにたちが入っている大きい方のプールに出かけて一緒に入ったりと行動範囲を広げています。れんげ・たんぽぽ組の子どもたちはプールで楽しんだり、色水あそびを楽しんだりとあそびを広げていました。すみれ組は自由になった体で思い切りプールあそびを楽しんでいました。幼児クラスの子どもたちは、プールの中で友だちと思いいいにごっこ遊びや、水中鬼ごっこ、潜りっこなどをうんと楽しんでいます。本当に子どもたちにとって、友だちの存在は大きいなと見ていて感じます。ここ数年9月になっても暑さがなかなか退かなくなってきているので、プール閉めを遅くして9月第1週までプールは残す予定です。プール閉めではカッパさんにこの夏楽しんだ泳ぎを披露できたらと思っています。



## 現代の子育て事情＝子どもを産み育てにくい国、日本＝



内閣府は少子化対策の推進に寄与する為として、2000年度から5年ごとに「少子化社会に関する国際意識調査」を実施しており（日本・フランス・ドイツ・スウェーデン）、少子化の背景をなす重要な要素としての結婚、子育て観等について国民意識とその変化を考察している。2020年度調査では、「子どもを産み育てやすい国だと思うか」について「そう思わない」の割合が4か国の中で最も高くなっている。また「子育てに対する楽しさ・つらさ」では、「楽しさを感じる時の方が多い」がどの国も多数を占めるが日本は「楽しさよりもつらさを感じる時の方が多い」が2

割を超え、4ヶ国中、最も多くなっている。

（2024 保育白書より参照）現代の子育て事情は本当に厳しくなっています。「経済的・金銭的な負担が大きい。将来の社会の不安。社会の理解や支援の不足」等。子どもを安心して産み育てる社会の実現が早急に求められています。9月は署名活動がスタートします。子育てしやすい社会の実現に向け、父母・職員で力を合わせていきたいと思っています。

## 新米園長のつぶやき(No.7) 気分転換

仕事が忙しくなり一人時間が欲しくなると、キブンテンカンをする。友達と飲みに行ったり、ドライブに行ったり。中でも良くするのが映画鑑賞だ。月に2本、多い時は3本観ている。「これが観たい」と思って計画的にいく事もあるが、だいたいその日の気分によって、行きたい時間とマッチした作品を観ている。そして時間帯は仕事終わりに行くレイトショーが多い。映画館は自宅近くの“ミッドランドシネマ名古屋空港”が多く、続いてマニアックな映画が多く上映されている伏見の“ミリオン座”だ。1月から8月までで16本観に行った。その中で1番良かった作品は「ONE LIFE 奇跡が繋いだ6000の命」だ。アンソニー・ホプキンス主演の戦争秘話。実話に基づいた映画。第二次世界大戦当時、チェコのユダヤ系難民の子どもたちをイギリスに脱出させようと懸命に里親を募集し仲介活動をしていた人たちの話だった。現地で危険を省みず子どもたちの為に行った行動で669人の命を救うことができた。だが彼はそのことより救うことのできなかった多くの子どもたちの事を重荷として受け止めていた。日本の外交官杉原千畝もそうだがこの時代、危険を省みず懸命に戦った人がいたことに胸をうたれた。「ひとりの命を救うことは世界と未来を救うこと」この映画が今の私たちに投げかける言葉の意味は大きいと感じた。秋の夜長、観てほしい作品だ。

